

動物実験に関する自己点検・評価報告書

名古屋女子大学

2022年7月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料
名古屋女子大学 動物実験規程、名古屋女子大学 動物実験委員会規程、組織体制図
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
基本指針及び飼養保管基準に基づき、機関内規程及び組織体制図が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期
該当しない。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果
<input type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 <input checked="" type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料
名古屋女子大学 動物実験規程、名古屋女子大学 動物実験委員会規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
機関内規程に基づき、動物実験委員会が設置され、基本指針に則した委員構成が定められているが、各カテゴリーの委員が複数名となるよう、委員の増員を検討する必要がある。
4) 改善の方針、達成予定時期
2022 年度に医療科学部が開設されるため、新学部から新たに委員を選出する。また、現在、委員長が実験動物管理者を兼ねていることについては、2022 年度から役割を分離する。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料
名古屋女子大学 動物実験規程、名古屋女子大学 動物実験委員会規程、動物実験各種様式
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

基本方針に基づき、機関内規程に動物実験の立案、審査、承認、結果報告等の手続きが規定され、それに従い各種様式も整備されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 名古屋女子大学 動物実験規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 安全管理に注意を要する動物実験は実施していない。名古屋女子大学 動物実験規程にその旨明記している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 名古屋女子大学 動物実験規程、飼養保管施設設置承認申請書、実験室設置承認申請書、飼養保管マニュアル、緊急時対応マニュアル、入室記録簿、飼育記録簿、飼育環境記録簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 名古屋女子大学 動物実験規程に基づき、飼養保管施設等の設置が承認され、飼養保管体制が定められている。また、飼養保管マニュアル及び緊急時対応マニュアルが定められ、飼養保管の体制が適切に整備されている。飼養保管マニュアルについては、継続的に見直しを行っている。
4) 改善の方針、達成予定時期 器具の消毒や廃棄物の処理方法、使用者の入室制限について見直し、2022年度に飼養保管マニュアルを改定する予定。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

該当しない。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 評価結果
<input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
名古屋女子大学 動物実験規程、名古屋女子大学 動物実験委員会規程、動物実験委員会議事録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）
動物実験委員会は、名古屋女子大学 動物実験規程及び名古屋女子大学 動物実験委員会規程に定められた役割を適正に遂行しており、議事録も保管されているが、動物実験計画の審査方法については統一する必要がある。
4) 改善の方針、達成予定時期
2022 年 4 月に「動物実験委員会規程」を改正して、「迅速審査」を廃止し、審査方法を統一する。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
動物実験計画申請書、動物実験審査結果答申書、動物実験審査結果判定書、動物実験計画（変更・追加）承認申請書、動物実験終了・中止報告書、動物実験結果報告書、動物実験の自己点検票
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）
機関内規程に基づき、動物実験計画の立案、審査、承認、結果報告が適正に実施されている。 2021 年度には 8 件の計画が承認実施されたが、動物実験結果報告書及び自己点検票は、すべて提出済みである。
4) 改善の方針、達成予定時期
該当なし。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果
<input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検の対象とした資料 安全管理に注意を要する動物実験は実施していない。事故等の発生はなく、向精神薬は適切に届出され、使用されている。
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 該当しない。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 名古屋女子大学 動物実験規程、飼養保管施設設置承認申請書、実験室設置承認申請書、飼養保管マニュアル、緊急時対応マニュアル、実験動物飼養保管状況の自己点検票
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 飼養保管施設における実験動物の飼養保管は、名古屋女子大学 動物実験規程及び各種マニュアルに基づき、実験動物管理者のもとで適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 名古屋女子大学 動物実験規程、飼養保管マニュアル、緊急時対応マニュアル、動物実験の自己点検票、実験動物飼養保管状況の自己点検票、入退室記録簿、飼育記録簿、飼育環境記録簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 機関内の施設等は、適正な維持管理が実施されている。入退室については、総務課受付で鍵管理台帳を作成し、毎回確認の上貸し出している。飼育室の環境条件の記録台帳（入退室記録簿、飼育記録簿、飼育環境記録簿）も適正に維持管理されている。また、委員会による定期的な視察を年1回

実施している。地震等の災害対策については、継続的に対応を行っている。
4) 改善の方針、達成予定時期 2022 年度には飼養保管施設内の器具・棚等固定状況について再確認を行う予定。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験教育訓練実施記録、動物実験教育訓練配布資料
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 基本方針に即した教育訓練が実施されている。実験動物管理者、実験実施者、飼養者の別に応じた教育訓練として、実験動物管理者は、日本実験動物学会による「実験動物管理者等研修会」を受講している。動物実験実施者（教員）に対しては、eAPRIN「動物実験コース」の受講を義務化しているが、eAPRIN「動物実験コース」には一部不足している項目があるため、人獣共通感染症などの項目を追加する必要がある。飼養者（学生）に対しては、『解剖生理学実験』の授業内で教育訓練を実施している。
4) 改善の方針、達成予定時期 eAPRIN「動物実験コース」の修了者を対象に、人獣共通感染症に関する資料を追加で配布する。また、2022 年 4 月に「動物実験規程」を改正し、教育訓練項目に「人獣共通感染症」を追加する。2022 年度には外部講師を招聘し、不足部分を含めて研修を実施する予定。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験に関する自己点検・評価報告書、名古屋女子大学ホームページ
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 自己点検・評価報告書を作成し、大学ホームページで必要な情報を公開している。2021 年度外部検証報告書の大学ホームページへの公開により、求められている全項目の情報公開を行った。引き続き、情報公開を進めていく。
4) 改善の方針、達成予定時期 2022 年度から、各委員の専門分野についても大学ホームページで公表する予定。

--

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

該当しない。
